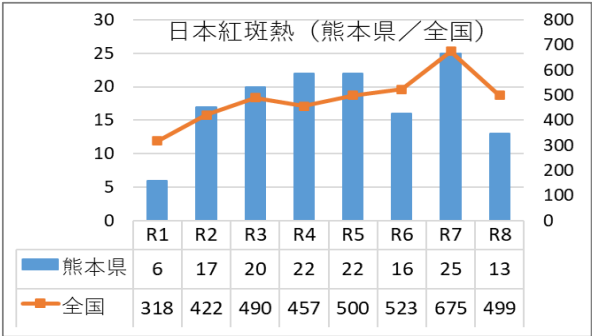


熊本県感染症情報（第42週：10/12～10/18）

日本紅斑熱に注意しましょう

- 今週（第42週）の報告数は2件、今年累計13件となりました。
- 日本紅斑熱は、病原体（リケッチア）を保有するマダニに咬まれることで感染し、発熱、発疹などの症状がみられます。
- 主に春から12月頃までは、マダニの活動時期です。農作業やレジャー等で、森林や草地等マダニが多く生息する場所に入る場合には、「長袖や長ズボンを着用する」「虫よけ剤を使用する」など、マダニに咬まれないよう対策を講じましょう。また、咬まれたときは無理に取らずに、医療機関で処置を受けましょう。



※令和8年は（熊本県）第42週時点、（全国）第41週時点

結核に気を付けましょう

- 今週の報告数は8件、今年累計122件となりました。
- 咳やたんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
- また、8月1日から12月31日まで、結核予防会が「複十字シール運動（※）」を行っていますので、ぜひ御協力をお願いします。※結核のない世界をつくる運動
- 詳しくは、熊本県ホームページやリーフレットを御覧ください。

【参考】「複十字シール運動にご協力をお願いします」

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/247221.html>



1 定点把握対象疾患

※県内141定点医療機関からの報告数：10/12～10/18

定点	No.	疾患名	今週	前週
急性呼吸器感染症	71	1 インフルエンザ	729	1,005
		2 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	14	29
		3 急性呼吸器感染症（ARI）	4,250	4,879
小児科	47	4 RSウイルス感染症	↑ 40	33
		5 咽頭結膜熱	9	10
		6 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	52
		7 感染性胃腸炎	152	215
		8 水痘	↑ 8	5
		9 手足口病	9	24
		10 伝染性紅斑（リンゴ病）	0	1

定点	No.	疾患名	今週	前週
小児科	47	11 突発性発しん	↑ 21	18
		12 ヘルパンギーナ	31	43
		13 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	↑ 1	0
眼科	9	14 急性出血性結膜炎	0	0
		15 流行性角結膜炎（はやり目）	11	12
基幹	14	16 細菌性髄膜炎	0	0
		17 無菌性髄膜炎	1	3
		18 マイコプラズマ肺炎	1	2
		19 クラミジア肺炎	0	0
		20 感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0

※定点の右欄は、定点医療機関数。

【報告数の多い疾患】

※地区別：定点当たりの報告数が多い地域を順に記載

	疾患名	今週	前週	地区別			年齢別		
				1	2	3			
①	インフルエンザ	729件	1,005件	八代	阿蘇	宇城	10-14歳	112件	15.4%
②	感染性胃腸炎	152件	215件	菊池	山鹿	有明	1歳	30件	19.7%
③	RSウイルス感染症	↑ 40件	33件	御船	宇城	熊本	1歳	16件	40%

警報・注意報レベルの基準値（国の基準） 20180926 時点

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

森・草むら・公園などに
生息しています



※マダニ拡大イメージ

そのマダニ ウイルスをもっているかも？

病原体をもったマダニに咬まれることで、「重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)」や「日本紅斑熱」等に感染する恐れがあります。

SFTS とは

主にウイルスを保有しているマダニに咬まれて感染するダニ媒介感染症です。

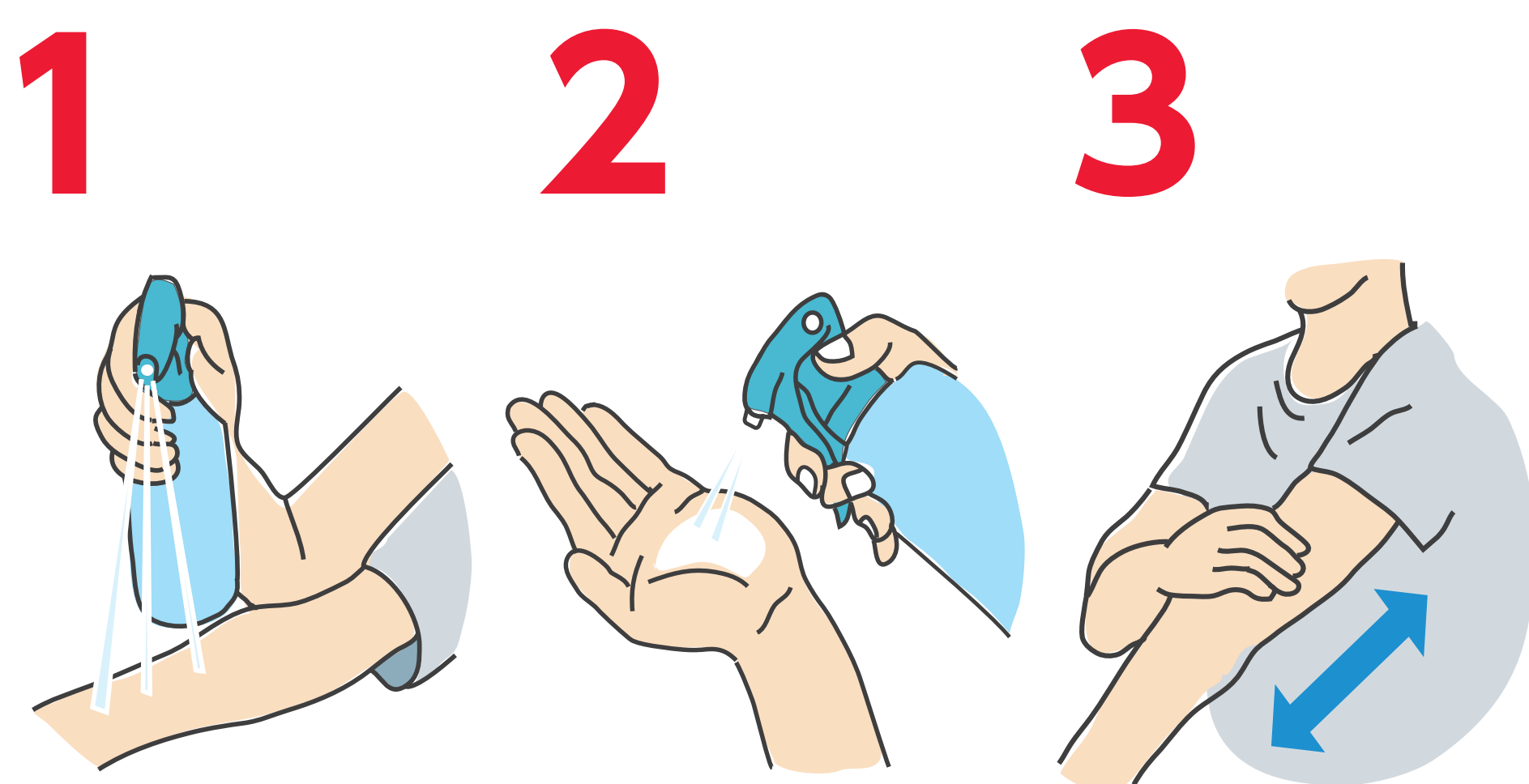
春と秋は、特に注意！

※5月と10月の感染者数が多いです。

近年
増加中!!

効果的な対策

虫よけ剤を正しく使う



腕・足などお肌の露出部分には約15cmの距離からスプレーしてください。

顔・首筋には手のひらにスプレーしてお肌に塗ってください。

塗りムラのないように伸ばして塗り広げてください。

※汗をかくと虫よけ剤が流れてしまうので、その都度塗り直すことが大切です。

肌を露出しない服装



虫よけ剤はムラなく
しっかり塗りましょう!!

※室内外で飼育する愛玩動物による家屋内持ち込みにも注意が必要です

マダニに咬まれた! そんな時は・・・

- ▶無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらってください。
- ▶マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診療を受けてください。



熊本県
Kumamoto Prefecture



アース製薬

熊本県ダニ媒介感染症
情報はコチラ▶



熊本県とアース製薬は包括連携協定を締結し、安全安心で健康な暮らしに関する取り組みを進めています。

結核って どんな病気？

結核は、「結核菌」という細菌が原因で起こる慢性感染症で、主に肺に炎症が起き、咳や痰、発熱といった症状が特徴です。

過去の病気と思われがちですが、世界ではいまだに多くの方が命を落とす重大な感染症です。

日本 4割が80歳以上の高齢者

日本で結核がまん延した時代に感染を受けた方が、高齢となってから免疫力の低下やそれに伴うさまざまな健康問題によって発病するケースが多数を占めています。

日本 20代の患者の 9割が外国生まれ

就業や留学などで海外からの入国者が増えており、その多くは結核罹患率が高い途上国からの若年層です。

海外 感染症による 死因のトップ

特にアジア、アフリカの国々は保健医療・結核対策の整備の遅れや貧困の問題を抱え、適切な治療を受けることが難しく、深刻な問題となっています。

結核は人から人に
うつる病気です。
毎年健康診断を受けて、
気になる症状がある時は
病院に行きましょう！



ごあいさつ

「結核は昔の病気でしょう？」
私は今でも、そう聞かれることがあります。けれど実際には、日本でも世界でも、結核に苦しむ人は今なお少なくありません。

治療を続けたくても続けられない人、
発見が遅れてしまう人、支えてくれる人が
近くにいない人――。

結核の問題は、病気だけでなく、「社会の弱さ」が映し出される問題でもあります。

だからこそ私は、結核をなくすためには、医療だけでなく、人と人との支え合いが必要だと思っています。

複十字シール募金は、長い間、多くの方のやさしい気持ちによって支えられてきました。

そのお気持ちが、研究、医療、予防活動、そして世界の結核対策へとつながっています。

未来の誰かを守る力として、今年も温かいご支援をお願いいたします。



公益財団法人結核予防会
理事長 尾身 茂

結核予防会とは

日本で結核がまん延していた1939年に内閣総理大臣に賜った皇后陛下の令旨に基づき設立されました。以来、日本と世界から結核をなくすための活動を続けています。

複十字シール運動のはじまり

1904年にデンマークでクリスマスシールが発行され、その収益金は結核に苦しむ人々のために役立てられました。シールを使った募金活動は世界に広がり、現在も各国で行われています。結核予防会は1952年に最初のシールを発行しました。

✚ 複十字章は世界共通の結核予防運動のシンボルです。

お問い合わせ

複十字シール募金は下記にて随時受け付けています。
お気軽にご相談ください。

公益財団法人結核予防会

〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町1-3-12



WEB サイト



X



Instagram

フリーダイヤル

0120-416864 (事業部募金推進課)

WE CAN END TB!

世界の結核を
なくそう!

結核

の世界へ!



複十字シール運動
イメージキャラクター
シールぼうや

複十字シール運動

8.1^土-12.31^木 (募金は随時
受け付けています)

複十字シール運動は、結核のない世界をつくる運動です。
その実現のために募金活動と普及啓発活動を行っています。



複十字シールには、
健康を願う
メッセージが
込められています!

主催：✚ 公益財団法人結核予防会
Japan Anti-Tuberculosis Association (JATA)

後援：厚生労働省・文部科学省・公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会



複十字シール運動から、結核ゼロの世界へ！

「複十字シール運動」は、結核のない世界をつくることを目的に1952年に始まりました。結核予防会及び全国の協力団体が窓口となり、**募金活動と普及啓発活動**を行っています。

皆様からいただいた募金は、主に結核の国際協力、結核や肺がん・COPD（慢性閉塞性肺疾患）などの普及啓発や結核予防団体の支援、調査研究等に役立てられており、日本と世界の人々の健康を守ることに繋がっています。



シールハイハイ

結核で失われる命(年間)

(2024年)

日本▶ 約 **1,461人**

海外▶ 約 **123万人**

結核を発病する人(年間)

(2024年)

日本▶ 約 **10,051人**

海外▶ 約 **1,070万人**

複十字シールには、健康を願うメッセージが込められています！



2026年度の複十字シールのテーマは「スポーツと健康」です。

日本のスポーツは歴史や文化と関係しています。子供の頃は、遊びや体育の授業を通して様々なスポーツを経験し、相手を尊重し合うフェアな考えを学びました。世代を超えても、体を動かすことは人々の心の健康と喜びにつながっています。

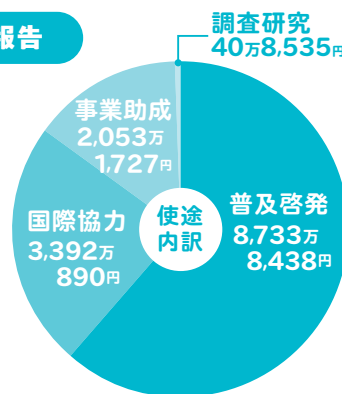


シールちゃん

2025年度募金報告

●募金収入
1億4,622万5,157円

●事業費(諸経費除く)
1億4,219万9,590円



税の優遇措置

募金は、寄附金控除の対象となり、税制上の優遇措置を受けることができます。

表彰制度

年間個人50万円、法人100万円以上の募金をいただいた方に、結核予防会の規程により、結核予防会総裁名の感謝状の贈呈がございます。

海外では

国内の活動で培った技術、知識、経験を活かして、世界の人々を結核から守るために**国際協力**に取り組んでいます。

- 医療従事者への技術指導
- 正しい知識の普及啓発
- 患者さんを支える住民ボランティアの育成

募金による
主な活動地域

アフリカ(ザンビア)
アジア(カンボジア、
ネパール、ミャンマー)



結核検診の様子(ネパール)



医療従事者への技術指導(ネパール)



ボランティアによる結核啓発活動(ザンビア)

日本では

患者数が減少し、結核への関心が低下しているため、**普及啓発**に重点をおいています。

- 全国の協力団体を通じた啓発キャンペーンの実施
- 結核についてわかりやすく解説したパンフレットなど教育広報資材の作成、配布



結核・呼吸器感染症予防週間ポスター



啓発キャンペーン



結核・呼吸器感染症のパンフレット

【定点把握対象疾患の推移(過去7週)】

報告期間	第35週	第36週	第37週	第38週	第39週	第40週	第41週	第42週	第39週	第40週	第41週
	7週前	6週前	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	全国3週前	全国2週前	全国1週前
	8/24～ 8/30	8/31～9/6	9/7～9/13	9/14～ 9/20	9/21～ 9/27	9/28～ 10/4	10/5～ 10/11	10/12～ 10/18	9/21～9/27	9/28～ 10/4	10/5～ 10/11
インフルエンザ	58	72	152	240	274	724	1,005	729	26,678	42,320	47,746
	0.83	1.03	2.14	3.38	3.86	10.20	14.15	10.27	7.17	11.35	12.81
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	58	30	55	52	45	36	29	14	4,671	5,635	5,362
	0.83	0.43	0.77	0.73	0.63	0.51	0.41	0.20	1.25	1.51	1.44
急性呼吸器感染症 (ARI)	3,110	3,380	3,650	4,103	2,605	4,343	4,879	4,250	155,282	224,516	258,961
	44.43	48.29	51.41	57.79	36.69	61.17	68.72	59.86	41.84	60.34	69.78
RSウイルス感染症	22	31	25	51	28	27	33	40	1,882	2,327	3,192
	0.48	0.67	0.53	1.09	0.60	0.57	0.70	0.85	0.84	1.03	1.42
咽頭結膜熱	7	8	20	9	4	5	10	9	329	484	399
	0.15	0.17	0.43	0.19	0.09	0.11	0.21	0.19	0.15	0.22	0.18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	69	60	53	69	41	56	52	30	1,625	2,907	3,194
	1.50	1.30	1.13	1.47	0.87	1.19	1.11	0.64	0.72	1.29	1.42
感染性胃腸炎	205	210	192	202	132	179	215	152	4,990	7,373	7,254
	4.46	4.57	4.09	4.30	2.81	3.81	4.57	3.23	2.22	3.28	3.22
水痘	4	9	4	10	2	4	5	8	350	467	350
	0.09	0.20	0.09	0.21	0.04	0.09	0.11	0.17	0.16	0.21	0.16
手足口病	27	10	27	21	8	18	24	9	1,685	1,834	2,068
	0.59	0.22	0.57	0.45	0.17	0.38	0.51	0.19	0.75	0.81	0.92
伝染性紅斑	1	2	0	2	3	1	1	0	53	40	77
	0.02	0.04	0.00	0.04	0.06	0.02	0.02	0.00	0.02	0.02	0.03
突発性発しん	41	37	34	31	21	27	18	21	428	599	597
	0.89	0.80	0.72	0.66	0.45	0.57	0.38	0.45	0.19	0.27	0.27
ヘルパンギーナ	28	27	25	43	11	32	43	31	1,330	2,465	2,933
	0.61	0.59	0.53	0.91	0.23	0.68	0.91	0.66	0.59	1.10	1.30
流行性耳下腺炎	2	3	2	1	1	5	0	1	63	107	85
	0.04	0.07	0.04	0.02	0.02	0.11	0.00	0.02	0.03	0.05	0.04
急性出血性結膜炎	0	3	1	0	0	0	0	0	1	4	5
	0.00	0.33	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01
流行性角結膜炎	3	7	5	9	9	12	12	11	350	451	437
	0.33	0.78	0.56	1.00	1.00	1.33	1.33	1.22	0.51	0.65	0.63
細菌性髄膜炎	0	0	1	0	1	0	0	0	8	7	7
	0.00	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.02	0.01	0.01
無菌性髄膜炎	0	0	1	1	1	0	3	1	24	25	31
	0.00	0.00	0.07	0.07	0.07	0.00	0.21	0.07	0.05	0.05	0.06
マイコプラズマ肺炎	2	3	0	0	1	1	2	1	247	305	315
	0.14	0.21	0.00	0.00	0.07	0.07	0.14	0.07	0.52	0.64	0.66
クラミジア肺炎	0	0	0	1	0	0	0	0	5	6	4
	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01
感染性胃腸炎(ロウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	-
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-

※ 上段:患者数、下段:定点一医療機関当たりの患者報告数

※ 定点一医療機関当たりの患者報告数が全国より2倍以上の場合は着色しています。

【全国より一定点当たり2倍以上(3週連続)多い感染症】 【大きな流行が発生又は継続しつつある地域(保健所)】

(※全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国の情報は1週間までの内容になります。)

・なし

・なし

2 全数把握対象疾患

	疾患名	今週	R8累計
2類感染症	結核	8	122
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2	27
4類感染症	日本紅斑熱	2	13
	レジオネラ症	2	35
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	9
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	15
	梅毒	1	154

※当該週以外の週で、報告遅れや取下げがあるため、R8累計報告数は増減します。

報告があった疾患のみ記載しています。

3 病原体検査情報

※県保健環境科学研究所で病原体検査を実施した結果を記載しています。

季節性インフルエンザではどのウイルスタイプが主流かといった傾向を示しています。

○インフルエンザウイルス検出状況(PCR検査結果) ※2026/27シーズン(R8.9/1～)の累計

	A型			B型
	季節性 H1 pdm (AH1 pdm09)	H1 (ソ連型)	H3 (香港型)	
	(今シーズン累計)	(今シーズン累計)	(今シーズン累計)	
	0件	0件	0件	0件
(昨シーズン累計)	2件	0件	52件	8件

○呼吸器疾患病原体検出状況 ※第1週(R7.12/29～)からの累計

ライノウイルス	RSウイルス	パラインフルエンザウイルス	ヒトメタニューモウイルス	コロナウイルス	エンテロウイルス
48件 (123件)	9件 (17件)	6件 (46件)	11件 (11件)	30件 (21件)	34件 (91件)
アデノウイルス	その他				
17件 (36件)	21件 (19件)				

(※カッコ内は昨シーズン累計)

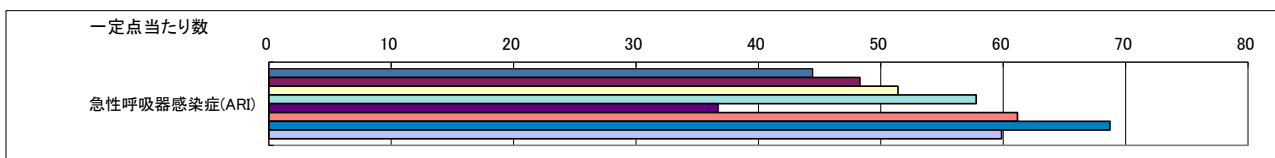
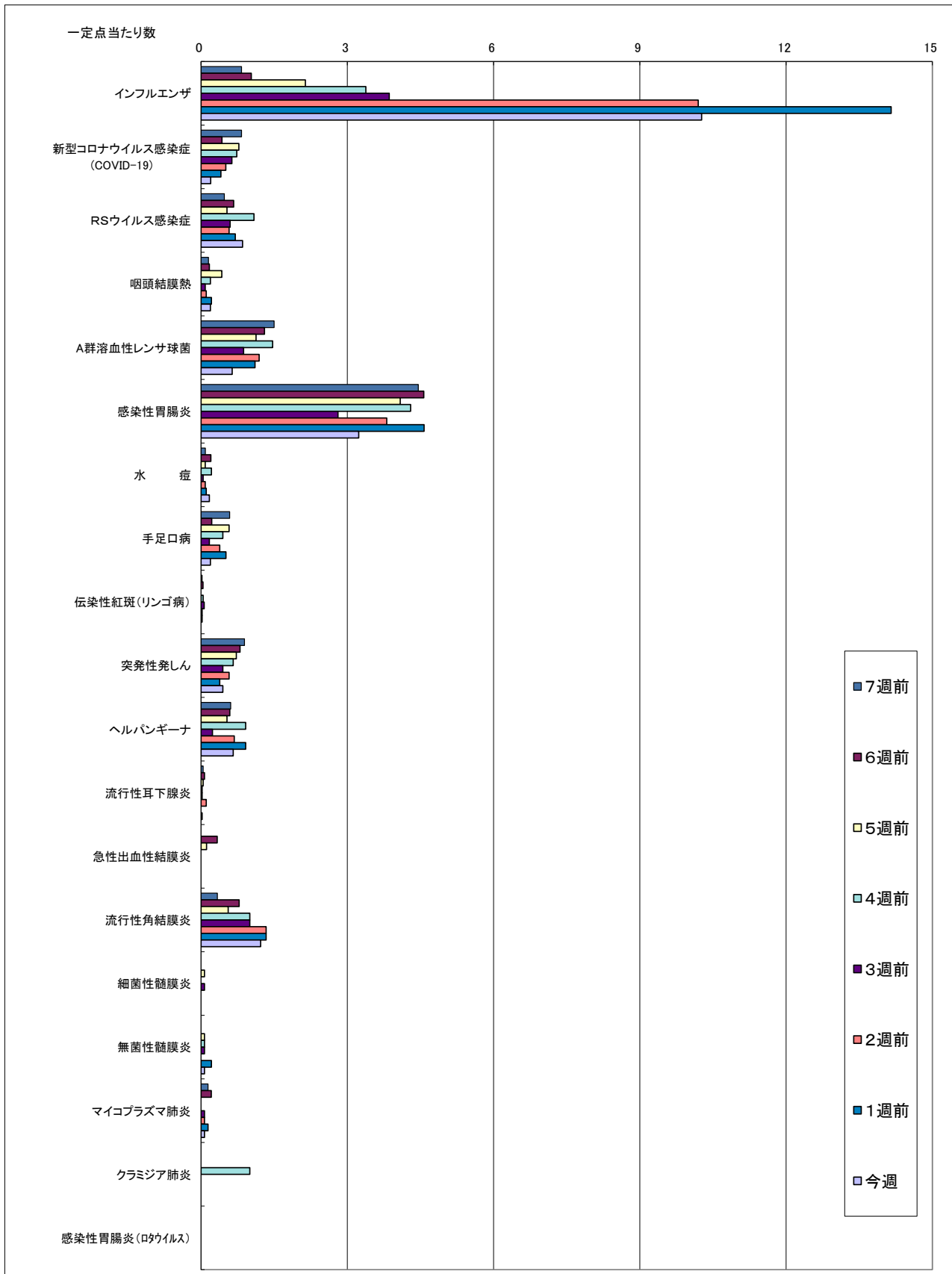
○感染性胃腸炎病原体検出状況 ※第1週(R7.12/29～)からの累計

ノロウイルス	サボウイルス	ロタウイルス	アストロウイルス	アデノウイルス	その他
0件 (0件)	2件 (1件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)

(※カッコ内は昨シーズン累計)

【週報に関するお問い合わせ先】
健康危機管理課 感染症対策班 直通電話:096-333-2240 (内33154)

一定点当たり週別発生状況の推移



<令和8年第42週>

令和8年10月22日

保健所別発生状況（急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点）

	保健所名	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	急性呼吸器 感染症 (ARI)	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽 頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑 (リンゴ病)	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
1	熊本市保健所	204	3	1,064	16	2	13	33	3	6	0	6	12	0	0	5	0	1	1	0	0
2	山鹿保健所	9	0	30	1	1	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	菊池保健所	82	0	1,562	5	4	5	38	1	2	0	8	7	1	0	0	0	0	0	0	0
4	阿蘇保健所	44	1	70	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	御船保健所	31	1	226	10	1	0	13	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6	八代保健所	149	2	333	1	0	2	16	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7	水俣保健所	23	2	107	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	人吉保健所	21	2	188	1	0	2	8	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	有明保健所	73	2	442	1	0	3	22	3	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
10	宇城保健所	70	1	128	5	1	3	7	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0
11	天草保健所	23	0	100	0	0	1	1	0	1	0	2	5	0	0	5	0	0	0	0	0
	計	729	14	4,250	40	9	30	152	8	9	0	21	31	1	0	11	0	1	1	0	0

保健所別 一定点当り患者報告数（急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点）

	保健所名	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	急性呼吸器 感染症 (ARI)	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶連菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑 (リンゴ病)	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
1	熊本市保健所	8.87	0.13	46.26	1.14	0.14	0.93	2.36	0.21	0.43	0.00	0.43	0.86	0.00	0.00	1.00	0.00	0.20	0.20	0.00	0.00
2	山鹿保健所	4.50	0.00	15.00	0.50	0.50	0.50	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	菊池保健所	11.71	0.00	223.14	1.00	0.80	1.00	7.60	0.20	0.40	0.00	1.60	1.40	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4	阿蘇保健所	14.67	0.33	23.33	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5	御船保健所	6.20	0.20	45.20	3.33	0.33	0.00	4.33	0.33	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	八代保健所	21.29	0.29	47.57	0.25	0.00	0.50	4.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	水俣保健所	11.50	1.00	53.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8	人吉保健所	4.20	0.40	37.60	0.33	0.00	0.67	2.67	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9	有明保健所	10.43	0.29	63.14	0.20	0.00	0.60	4.40	0.60	0.00	0.00	0.20	0.20	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	宇城保健所	14.00	0.20	25.60	1.25	0.25	0.75	1.75	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-
11	天草保健所	4.60	0.00	20.00	0.00	0.00	0.25	0.25	0.00	0.25	0.00	0.50	1.25	0.00	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平均	10.27	0.20	59.86	0.85	0.19	0.64	3.23	0.17	0.19	0.00	0.45	0.66	0.02	0.00	1.22	0.00	0.07	0.07	0.00	0.00

年齢別発生状況(急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点)

令和8年第42週

急性呼吸器感染症定点 年齢区分	合計	0-5 ヵ月	6-11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	729	2	11	30	17	36	41	27	44	26	31	33	112	29	29	56	50	45	46	39	25
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	14	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3	0	0	2	2	2	0

急性呼吸器感染症定点 年齢区分	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
急性呼吸器感染症 (ARI)	4,250	258	1,479	953	523	155	122	179	163	112	108	110	88

小児科定点年齢区分	合計	0-5 ヵ月	6-11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	40	1	12	16	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	9	0	0	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶連菌咽頭炎	30	0	0	0	2	3	4	3	7	5	3	0	1	0	2
感染性胃腸炎	152	1	11	30	13	11	14	13	5	8	7	6	13	3	17
水痘	8	0	2	1	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0
手足口病	9	0	2	3	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	21	0	5	11	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	31	0	1	11	8	1	1	4	3	1	1	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

眼科定点年齢区分	合計	0-5 ヵ月	6-11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	11	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	1	1	2	1	1	1	0	0

基幹定点年齢区分	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
マイコプラズマ肺炎	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等について(第42週:10/12～10/18)

令和8年(2026年)10月22日(木)
熊本県 健康危機管理課

1 学級閉鎖について

No	所在地	施設名	措置種別	学年	措置した学級数 /学年の総組数	休校	学年閉鎖	学級閉鎖	在籍数	患者数	欠席数	措置の期間			備考
1	和水町	和水町菊水小学校	学年	1	—	0	1	0	33	10	7	10月13日	～	10月13日	
2	熊本市	熊本市立下益城城南中学校	学級	3	1/6	0	0	1	38	15	12	10月13日	～	10月13日	3-5
3	玉名市	玉名市立玉名町小学校	学級	4	1/6	0	0	1	32	12	12	10月14日	～	10月15日	4-2
4	南関町	認定こども園 南関ひまわり幼稚園	学年	3	—	0	1	0	6	3	3	10月14日	～	10月15日	年少:桃クラス
5	南関町	認定こども園 南関ひまわり幼稚園	学年	4	—	0	1	0	9	4	4	10月14日	～	10月15日	年中:藤クラス
6	熊本市	熊本市立五福小学校	学年	6	—	0	1	0	29	9	9	10月14日	～	10月15日	
7	熊本市	熊本市立川尻小学校	学級	3	1/3	0	0	1	26	9	9	10月14日	～	10月15日	3-2
8	熊本市	熊本市立清水小学校	学級	6	1/3	0	0	1	26	10	9	10月14日	～	10月15日	6-2
9	熊本市	熊本市立月出小学校	学級	4	1/2	0	0	1	28	10	6	10月14日	～	10月16日	4-1
10	熊本市	熊本市立鹿南中学校	学級	2	1/5	0	0	1	31	10	10	10月14日	～	10月16日	2-1
11	熊本市	熊本市立鹿南中学校	学級	3	2/6	0	0	2	66	27	27	10月14日	～	10月16日	3-1、3-2
12	熊本市	熊本市立錦ヶ丘中学校	学級	3	1/9	0	0	1	35	13	13	10月14日	～	10月16日	3-7
13	熊本市	熊本市立飽田東小学校	学級	1	1/3	0	0	1	33	11	9	10月14日	～	10月17日	1-3
14	熊本市	熊本市立健軍小学校	学級	1	1/3	0	0	1	28	11	9	10月14日	～	10月17日	1-1
15	熊本市	熊本市立飽田東小学校	学級	3	1/3	0	0	1	31	8	8	10月14日	～	10月17日	3-2
16	水俣市	水俣市立水俣第一小学校	学級	3	1/2	0	0	1	32	6	6	10月15日	～	10月16日	3-1
17	熊本市	熊本市立鹿南中学校	学級	2	1/5	0	0	1	31	11	11	10月15日	～	10月16日	2-3
			—	—	—	0	4	14	514	179	164				

2 学校の休業等に係るインフルエンザ様疾患の発生状況（2026～2027シーズン）

期間		9月 (8/31～10/4)	第41週 (10/5～10/11)	第42週 (10/12～10/18)	合計
合計（人数）		279	406	179	864
保健所別	熊本市	175	236	144	555
	有明	14	29	22	65
	山鹿	0	0	0	0
	菊池	17	57	0	74
	御船	20	52	0	72
	阿蘇	0	9	0	9
	宇城	0	0	0	0
	八代	0	11	0	11
	水俣	27	12	6	45
	人吉	11	0	7	18
	天草	15	0	0	15
昨年同期		169	36	34	239

※学校等からの届出があった日でカウントしています。

県内のインフルエンザの発生状況は、県のホームページに掲載しております（毎週更新）。

本書の情報はあくまで速報値です。

○インフルエンザの予防方法は

- ・咳エチケットを守りましょう。
- ・できる限り人混みを避けましょう。
- ・こまめに石けんを使用して丁寧に手洗いをしましょう。
- ・十分な栄養、休養、睡眠を心がけましょう。



○「せき」や「くしゃみ」で出るしぶきで、ウイルスが広がります。

- ・「せき」や「くしゃみ」が出るときは、マスクを着用しましょう。
- ・マスクをしていない場合は、「せき」や「くしゃみ」をする際は、ティッシュなどで口や鼻を押さえ、顔をそむけましょう。
- ・使用後のティッシュや使い捨てマスクは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。